

国際シンポジウム

「スピリチュアルケアの現代的展開」

キリスト教圏では司牧の一環と考えられていた死や悲嘆や危機に直面する人へのケアが、特定宗教の教えを前提とするものではなく、「スピリチュアルケア」とよばれるようになってきている。医療の世界でもスピリチュアルケアの必要性の認識が進んでいる。

日本の宗教界は刑務所での教誨には慣れていたが、病院等でのチャプレンにあたるものはほとんど見られなかった。ところが、1980年代以降、災害を含むさまざまなケアの場で、宗教者が役割を担う可能性が探られている。臨床宗教師に関心が集まるのもそうした事情を踏まえている。

多角的な文化環境が広がるなか、スピリチュアルケアのあり方が世界各地で探求されている。このシンポジウムでは、それらに学びながら、現代の日本でのスピリチュアルケアのあり方を考え、将来への展望を見出していきたい。

日 時 **2017年9月18日(月)** 午後1時30分～午後4時
(開場：午後1時)

場 所 **上智大学2号館17階 1702会議室**

基調講演

「アメリカにおけるスピリチュアルケアの現在」

岡田 圭 氏 (ニューヨーク訪問看護サービススピリチュアルケア・カウンセラー)

シンポジウム

「スピリチュアルケアの新たな動向」

ジョナサン・ワッツ 氏 (新国際エンゲージドブディズム研究会)

谷山 洋三 氏 (東北大学大学院文学研究科宗教学研究室准教授、日本臨床宗教師会)

沼口 諭 氏 (沼口医院、医療法人徳養会理事長・日本臨床宗教師会)

和田 香織 氏 (カルガリー大学助教授)

コメンテータ / 堀江 宗正 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科准教授)

司 会 / 島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所長、上智大学大学院実践宗教学研究科委員長)

◆ 入場無料 定員120名(定員に達し次第、締切り)

◆ 申込方法 申込みは、WEBエントリーとなります。(8月上旬より受付を開始します。)

右記のURLにアクセスして申込みください。 <https://eipo.jp/griefcare/>

